

Mランドニュース Vol. 54

丹波ささ山校 平成23年9月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569

TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 豊田文雄

<http://www.sasayama-ds.com/>

E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

自立ということは、依存を排除することではなく、必要な依存を受け入れ、自分がどれほど依存しているかを自覚し、感謝していること。

河合隼雄先生(こころの処方箋より)

デカンショ祭参加

今年も暑い夏を迎え、全国でも有数の盆踊り「デカンショ祭」が開催されました。

ほのかな提灯の明かりに照らし出される河原町の旧商家通りをプラカードとMランドの旗を先頭にMランド連(約六十名のゲストとスタッフ)の面々は歩いて会場に向かいました。昔ながらの祭りを思わせる情緒たっぷりの情景にゲストが一言、「いいなこの雰囲気」。



浴衣姿での参加は篠山での思い出に

会場の篠山城三の丸広場に設けられた木造のやぐらはライトアップされ日本一の大きさと。人出も多く、各連が揃っての総踊りの時には会場は一番の盛り上がりを見せていました。せつかくの参加なので前夜



やぐらをバックに参加記念の集合写真

篠山の街とMランドのコラボレーションが発揮できた瞬間でした。(井本 徹)



梶谷先生(左)による踊り講習会

は好例となりましたデカンショ踊り保存会の梶谷先生による踊りのご指導を受けました。篠山の人情味を感じさせる楽しい語りに時間を忘れて踊りに興じ、本番に備えました。

ナイト・カーニバル

過ぎゆく夏の夜のひとときをゲストとスタッフ、ご近所の方にもお声かけしてイベントを楽しんでいただきました。教習の時とは違ったゲストのはじけるような笑顔が印象的でした。



仲間といると楽しさは 〇倍！

■オープニング直後は唐揚げ、焼きそば、おにぎりなどカフェ「ミロ」とスタッフ手づくりの「屋台」でお腹を満たしていただきました。



永井所長の焼きそばには行列が...

■チームごとに分かれてのミニ運動会では、「玉入れ」、「大縄飛び」などの団体競技で即興のチームワークを競いました。



近所の子どもも飛び入り参加の「玉入れ」

■コース外周を使つての「自転車レース」も六チームの対抗戦。若いゲストに負けないようにと仮装したインストラクターチームも参戦しましたが、あえなく最下位に沈みました。



自転車レース第一走者のスタート前

■アトラクションとして社員演じるコント？音楽ユニット「サイドギャザー+1」が登場し、ゲストに捧げる応援歌を披露しました。



ゲストを前に熱演のスタッフ

■「踊り・夢・感動」をチームテーマに青少年健全育成活動を目的にした篠山市内のよさこいチーム「楽空間」が迫力の演舞を披露し、このイベントを盛り上げていただきました。



エネルギーな踊りを披露する「楽空間」

ブレイブストーリー
Brave Story
(勇気の物語)

一九八五年(昭和六十
年)、大学を卒業して故郷
篠山に戻りました。非常勤
講師として地元の高校で週
に三日、一日二時間の体育
の授業と陸上部のコーチを
させていただき、残りの四
日は、トライアスロンのチャ
レンジに向けての練習日に
あてました。

最初はどんなトレーニング
をしていいかわからず、
自分で楽しいと思えるトレ
ーニングをすることにしまし
た。特に競技用の自転車に
乗るのは初めてのことでし
たので、トレーニングというよ
りもサイクリングを楽しむ
というように感じました。
目的地を決めてロードマップ
(地図)を事前に見て走り
だします。途中何度も道を
間違え、気がつけば反対方
向に走っていたことも何度
もあります。そんな時は、
新しい道の発見や歴史を感
じる建物に遭遇してはワクワク
していました。自宅に
戻って、走ったコースに印をつ
けるのも楽しみのひとつでし

た。

いよいよ、初めてのトライ
アスロンにチャレンジです。
水泳がプールを使っただけの二
百m、自転車は二十km、ラン
ニングは四kmという、非常
に短い距離になっていました。
そのためか少し軽い気持ち
で挑みました。プールに飛
び込んで全力で泳いだら百
mもしないうちに息が詰まっ
て苦しくなって泳げません。
その後も思うように息がで
きず、「もうだめだ」と何度
も立ち止まりながら泳ぎ
きりました。自転車とラン
ニングは全力が出せたものの、
水泳では死ぬのではないか
という恐怖を初めて感じ、
トライアスロンを甘く見て
はいけないと気を引き締め
ることとなりました。

学生時代、水泳の先生が
おっしゃった「水泳をなめる
な、水は恐ろしい、命を落
とすぞ、泳げるようにな
れ」が心にこたまし、我流の
水泳練習をやめて、スイミ
ングスクールに通うことにし
ました。その後、いろんなト
レーニングを取り入れ量を
増やし質も高めますが、苦
しさ、不安、恐怖は常につ
きまといきました。

トライアスロンのチャレン
ジを重ねていくと、「記録」
や「順位」を狙うよりも、ど
んな状況でも「今の自分の
力」を出し切ることを目指
さなければ、経験したこと
のない環境や状況に遭遇し
たときに「逃げてしまおう」と
気づき、プロ選手の弟子入
りを決断しました。トライ
アスロンにチャレンジするこ
とにより、今の自分を変え
たいと強く思えてきたので
す。



プロ選手に弟子入った頃



おし しょう
や 八 彰一

昭和三十七年(一九六二)
生まれ。兵庫県篠山市出身
プロトライアスロンチーム
「チームブレイブ」監督。シド
ニー・アテネなどオリンピック
男子チームのコーチを歴任
し、日本のトライアスロン界
をリードする。

サンキューレター

「ありがとう」の言葉に
ほっとした気持ちになり
ます。

「ありがとう」は、縁を
結びつける言葉です。

「ありがとう」は、人に
やすらぎを与えてくれる
言葉です。

「ありがとう」は、人間
関係の潤滑油となる言葉
です。

言葉とは不思議なもの
です。

命をもって生きていま
す。

心やさしい「ありがとう」
に、人はどんなに力づ
けられることでしょう。

『見つけてください』

美しい心

この呼び掛けに一日に約
百通、月に三千通ものサ
ンキューレターが行き交
います。

ありがとうの言葉を
文字にして、Mランドを
優しい気持ち温かい空気
で満たします。

Mランド丹波ささ山校 様へ

2週間お世話になりました。トイレ掃除のボランティアに参加
して、思っていた以上に学ぶことが多かったことに、感謝し
ています。たまに自分がエラそうにしないか不安になる
時があります。謙虚でいる方法を教えてもらい、これからも
実践しようと努力します。ありがとうございました。

氏名 大原美樹 様

Mランド丹波ささ山校 様へ

素晴らしいインストラクターやスタッフの方々に囲まれ、篠
山という素敵な環境の中で過ごせたことに感謝します。
ボランティアをはじめデカンショ祭にも参加でき、多くを学び
貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。
Mランド人として三宝を実践し、日々精進していきます。

氏名 中藤由佳 様



道のりは遠くても目標は明確

編集後記

平成十八年九月一日の
第一号Mランドニュース発行
から丸五年が経過しまし
た。

記念すべきその紙面には、
プチホテルハーモニーの本格
稼働から初めての夏シーズ
ンを迎えて、たくさんさんのゲ
ストで楽しくにぎわう様子
が載っています。

挨拶のことやミロの紹介、
ボランティアの掃除がゲスト
と共に行なわれるようにな
ったことなど、今の丹波ささ
山校の原型が窺われます。
慣れない当時のスタッフの
心配も「全力投球で誠意を
もってお迎えしよう!」の掛
け声で対応し、まさに熱い
挑戦の夏であったことは間
違いありません。

初心を忘れず、さらに高
みを目指しましょう。(文)